

交通安全いきいき情報

平成29年1月号

富山県警察本部交通企画課 (076)441-2211 (内線 5043)



「全国」統一

平成29年交通安全年間スローガン

◎ 運転者（同乗者）向け

抱っこより
深い愛情
チャイルドシート



◎ 歩行者・自転車利用者向け

身につけよう
命のお守り
反射材



◎ こども向け

ペダルこぐ
免許はないけど
ドライバー



車を運転するときは…

例えば、時速 40 キロで走行する車が衝突すると、子供であっても体重の 30 倍の重量となって投げ出されるので、大人の腕だけでは支えられません。体格にあったチャイルドシートに子どもを乗せましょう。子供の安全を守るのは、大人の責任です。

夜間、外出するときは…

夕暮れ時や夜間はモノが見えにくいため、事故の危険が高まります。
周囲に自分の存在を早く知らせるために、反射材や LED ライトを活用したり、白や黄色など明るい色の服装を心がけて、目立つ工夫をしましょう。

自転車に乗るときは…

「止まれ」の標識や信号は、しっかり守り左右の安全をよく確かめてから渡りましょう。
横断歩道や歩道では歩行者などがいないか注意しましょう。



「富山県年間スローガン」
ゆずりあう
心でひろがる
無事故の輪



新年明けまして
おめでとうございます。
本年も「交通安全いきいき情報」を
よろしくお願いいたします。
皆さんにとって交通事故のない良い
年でありますように。

平成28年の交通事故発生状況(12月末現在)

◎ 年間事故発生件数

区分 年	発生件数	死者数	負傷者数
平成 28 年	3,470 (870)	60 (41)	4,006 (789)
平成 27 年	3,945 (892)	70 (52)	4,570 (827)
前年比	-475 (-22)	-10 (-11)	-564 (-38)

() 内は高齢者数(内数)である。

◎ 警察署別死者数

氷見 2(2)	射水 8(3)	富山北 1(1)	滑川 3(2)	入善 1(1)
小矢部 0(0)	高岡 9(7)	富山中央 8(6)	上市 3(2)	黒部 2(1)
砺波 6(6)	富山西 6(4)	富山南 2(2)	魚津 1(0)	高速 4(1)
南砺 4(3)				

() 内は高齢者数(内数)である。

◎ 県内の交通死亡事故の特徴 (59件60人)

◎ 年代別では「高齢者」が約7割と多い!

死者60人中、65歳以上の高齢者が41人(68.3%)で、7割近くを占めています。



◎ 道路横断中の事故が多い!

死者60人中、歩行中は32人、うち横断中が24人でした。横断後半、左から来た車にはねられた人は14人で、横断前半、右からきた車にはねられた人は10人でした。



◎ 薄暮時から夜間にかけて多く発生!



時間帯別では、午後4時から午後8時までの発生が24件(40.7%)と最も多く発生しています。

◎ 事故原因は前方不注意が多い!



事故原因は、前方不注意である脇見運転8件(13.6%)、漫然運転13件(22.0%)と全体の4割近くを占めています。

◎ シートベルト5割が非着用!

四輪乗用中20人のうち、シートベルト非着用は9人(45.0%)で、そのうちの7人はシートベルトの着用効果があったと推定されます。



◎ 事故形態別死者数

() 内は高齢者数(内数)である。

車×歩行者



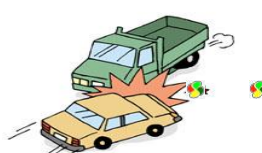
30人
(24人)

車×自転車



4人
(2人)

車×車



13人
(7人)

単独事故



13人
(8人)